

顧客の利便性を大幅に向上するIoTコインランドリー

DATA

活用領域・解決する課題

・顧客の利便性向上
・コインランドリー事業者の業務効率化・売上拡大

テクノロジー・
デバイスキーワード

スマホアプリ、機器へのIoT 設置
クラウドシステム

洗剤は使わずアルカリイオン水で汚れを落とすコインランドリー「wash+」を運営する千葉県浦安市のwash-plusは、利用者側にも事業者側にも付加価値をもたらす「Smart Laundry」サービスを提供している。

ランドリー機器をIoT化し、稼働状況の把握や遠隔からの制御を実現。さらに、スマホを用いた会員管理システムにより、リピート率の向上や利用の平準化などマーケティングを強化している。



行える。終了通知も届くので、合い間の時間(30~60分)を有効に使える。

また、洗濯物の盗難防止やプライバシー保護に役立つ洗濯乾燥機のドアロックや窓ブラインドといった利用者目線のユニークな機能、法人ユーザーに有効な自動領収書発行機能も提供している。

「Smart Laundryは、他のコインランドリー事業者も導入・運用が可能です」と、wash-plus代

表取締役の高梨健太郎氏は話す。

事業者向け機能として、①利用時にポイントを付与して特典提供などを行える「ステイタス機能」、②割引などの「電子チケット発行」が可能、③有料会員や法人顧客などをグループ登録して割引利用料を設定できる「グループ機能」が用意されており、これらを活用することで、リピート率向上



wash-plus
代表取締役
高梨健太郎氏

や顧客囲い込みを図ることができる。

また、直営店舗では、ステイタス機能の設定で洗濯終了後3分以内に洗濯物を取り出した場合の付与ポイントを2倍にしたことで、洗濯物の放置時間も短縮されたという。

機械の制御にとどまらず、アプリを使った柔軟な働きかけができるのが、現場を知る企業が企画したサービスならではのといえる。

導入効果に確かな手応え
フランチャイズ展開もスタート

Smart Laundryの導入は2020年1月時点で直営店が19店舗(千葉県15、東京3、北海道1)、他事業者も含めると総計80数店舗に達する。

スマホアプリのダウンロード数もすでに1万8000を超え、週500人ペースで増えている。

直営店での導入効果としては、洗濯後の放置時間短縮、10時前後に集中する利用者の分散による稼働率向上などが実際の数値で確認できている。しかも「売上も全体で4割ほどアップしています」と高梨氏は語る。

今後はシステムのさらなる機能向上、利便性向上を積極的に進める考え。2020年2月からはフランチャイズ展開も開始しており、2022年までに導入実績400店舗を目指している。

他事業者も導入が可能
顧客囲い込みに役立つ機能も

直営店の例でいうと、会員となった利用者は、スマホアプリで洗濯乾燥機の空き状況確認、利用予約、進行状況確認、乾燥時間延長指示などが

図 「Smart Laundry」の概要

